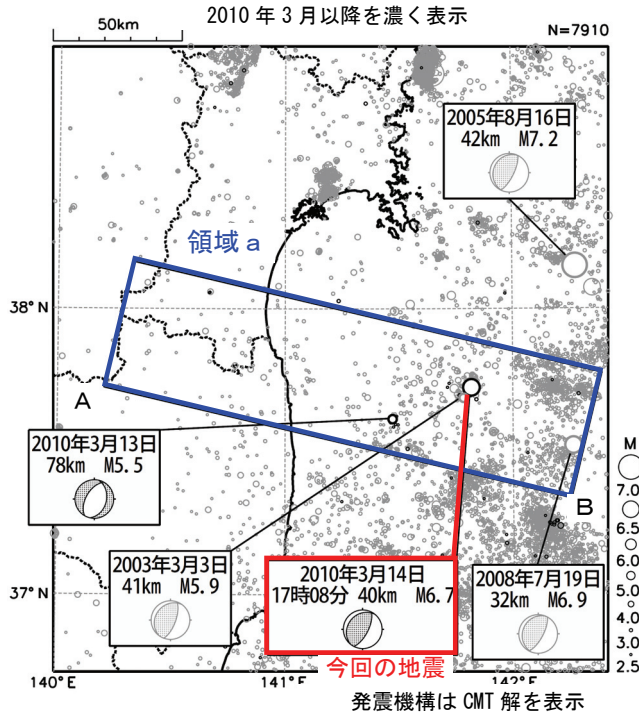
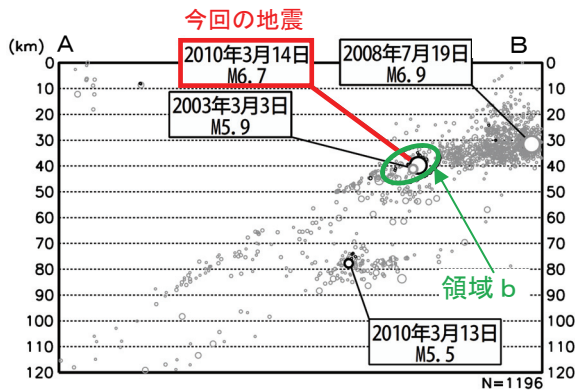


# 3月14日 福島県沖の地震

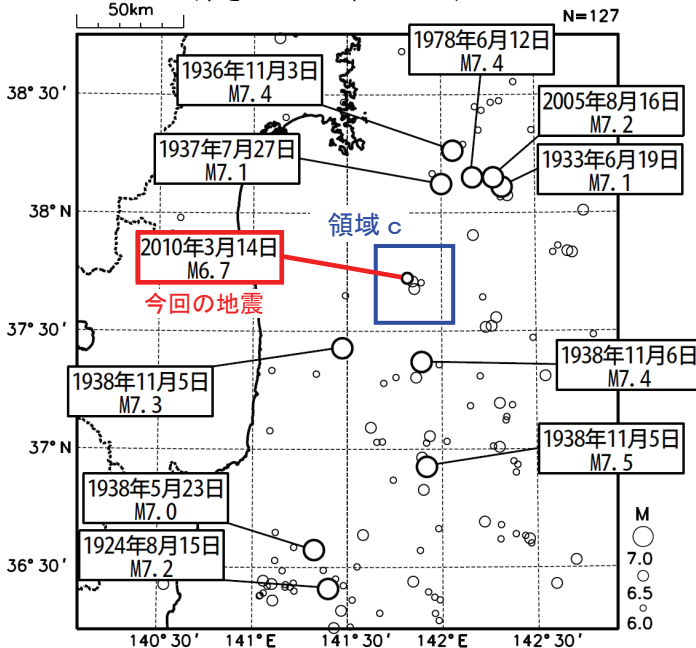
震央分布図（2001年10月1日～2010年3月31日、  
深さ0～120km、 $M \geq 2.5$ ）



領域aの断面図（A-B投影）



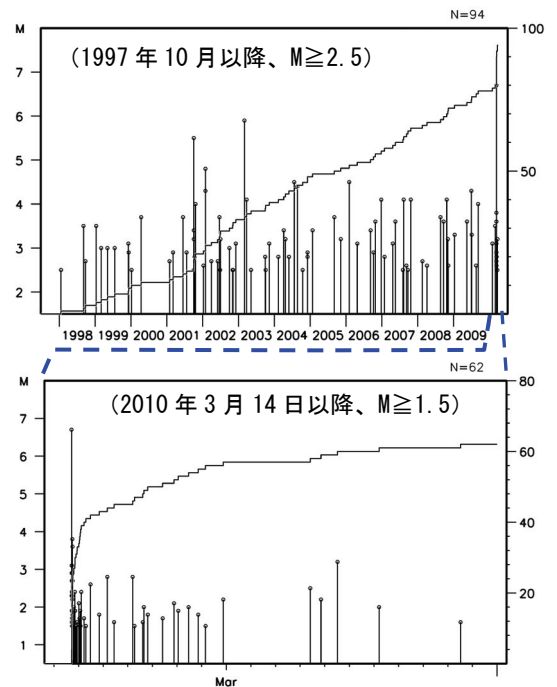
震央分布図（1923年8月1日～2010年3月31日  
深さ0～90km、 $M \geq 6.0$ ）



2010年3月14日17時08分に福島県沖の深さ40kmでM6.7の地震（最大震度5弱）が発生した。この地震により、負傷者1名、住家一部破損2棟などの被害が生じた（総務省消防庁による）。この地震の発震機構（CMT解）は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。余震活動は収まりつつある。

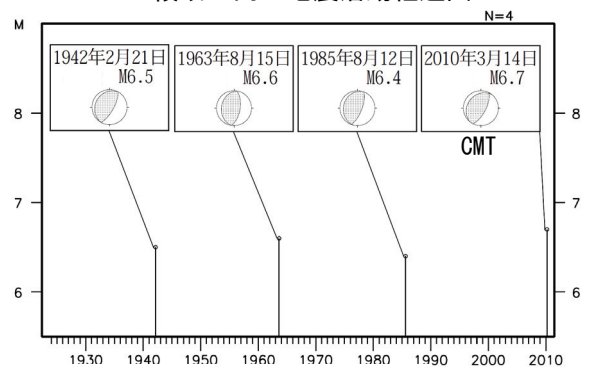
1997年10月以降の地震活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b内）では、2003年3月3日にM5.9の地震（最大震度4）が発生している。

領域b内の地震活動経過図・回数積算図



1923年8月以降の地震活動をみると、今回の地震の震央付近（領域c内）では、M6.4～6.7の地震が21～25年に1回の割合で発生している。今回の地震は、前回の地震の約25年後に発生し、過去4回の地震の中で最大規模であった。

領域c内の地震活動経過図



※1942年と1963年の地震の発震機構解は、Ichikawa(1971, Geophys. Mag. 35, 208-274) 気象庁作成によるもの。